

Q 評価対象期間が分かりづらい

A 前年度が対象となります。今年度は令和 5 (2023) 年 4 月 1 日から令和 6 (2024) 年 3 月 31 日までの実績をご記入ください。

Q 昨年度は臨床研究医で、今年度に入ってから教員に採用された場合は、臨床研究医の実績を提出するのか

A 教員としての業績評価ですので、臨床研究医時代の業績は提出する必要がありません。したがって、今年度は提出する必要がありません。

Q 「研究」で、研究費を複数年度で申請・獲得している場合、金額は総額を書くのか、当該年度分だけを書くのか

A ①申請状況については、複数年度の申請金額(総額)を記入してください。②獲得状況については、評価年度(今回は令和 5 (2023) 年度分の 1 年分の金額を記入してください。

Q 「研究」で、学術奨励寄附金はどこに書くのか

A 学術奨励寄附金は、寄附者からの申請に基づくため業績評価の対象とせず、したがって、記入欄はありません。

Q 「研究」で、原著論文でコレスポンディングオーサーの場合は、主著か共著か

A 主著としてください。

Q 「教育」で、BSL を毎日やっているが、時間数・回数を正確に把握していない

A 平均的・標準的な時間数・回数を積算してご記入ください。例えば、1 グループあたり 2 週間の中で 1 回受け持ちがあり、所要時間が 1~5 時間とケースバイケースの場合、時間数は 3 時間又は 1~5 時間、回数は 18 回となります。記載例は「〇〇科学 (3 時間、18 回)」または「〇〇科学 (1~5 時間、18 回)」としてください。

Q 「教育」で、正確な科目名を覚えていない

A 各分野に配布済の『医学部教育要項』(学部) 及び『医学研究科修士課程教育要項』『医学研究科博士課程教育要項』(大学院) にシラバスが掲載されていますので、そちらでご確認ください。

Q 「診療」で、教員数名で患者数名を見ている場合は、患者数は何名と書けばよいのか

A 原則として、主として担当している患者数をご記入ください。判断に迷われた場合は、教員各自の判断でご記入ください。この場合、結果として各教員から申告された患者数の合計が実際の患者数よりも多い場合があります。

Q 「社会貢献」で、講習会を開催した場合のポイントが半日単位で1ポイントとは、他と比べて評価が低くないか

A ポイント数については、平成27年度において「教育」で見直しを行いました。今後とも（著しく）バランスを崩していると思われるような状況が見られれば、随時見直しを行います。

Q 所属長からのハラスメントを相談中の場合、記入したフォーマットは誰に提出すればよいか

A 原則どおり所属長に提出するほか、研究科長にハラスメントについて相談中であることを明記した上で提出してください。この場合、所属長による評価は採用されず、最終的な評価者は研究科長（診療の評価は病院長）となります。

Q 出産・育児・介護等により1年間活動を中断した場合でも、所属長の評価を受けた上でフォーマットを提出する必要があるか

A 評価対象期間内の勤務がないため、今年度の教員業績評価の対象者とはなりません。もし可能であれば、後年への記録のために、中断期間の欄に記入し、所属長評価を受けずに直接、管理課庶務係へ提出してください。

Q 各領域における所属長評価は、教員とその所属長との間の業績に対する意識の共有化を図るため、教員本人の申出により開示することができるとされているが、どのように開示請求したらよいのか

A 管理課庶務係に教員本人がお申し出ください。個人情報保護のため、ご本人のメールアドレス宛のみに所属長評価済フォーマットを送付いたします。